

# 浜松交響楽団 第73回 定期演奏会

Hamamatsu Symphony Orchestra

## ブレンナー峠を越えて

チャイコフスキー  
イタリア奇想曲  
作品45

ディ・カプア オー・ソレ・ミオ  
トスティ 理想の女  
トマ 歌劇「ミニヨン」より“君よ知るや南の国” ほか

ブラームス  
交響曲第3番へ長調  
作品90



指揮 時任 康文



テノール 平尾 憲嗣



メゾソプラノ 上田 由紀子



朗読 ナターシャ・グレゴリー



2012年 12/9 [日] アクトシティ浜松 大ホール

開場 1:15pm 開演 2:00pm <当日券販売開始 12:30pm>

※今回の演奏会から開演時刻が2:30pmから2:00pmに変更になります。

指定席S ¥2,000 指定席A ¥1,600 自由席 ¥1,500 学生自由席 ¥1,000

(小・中・高) ※自由席・学生自由席は3・4階 ※6歳未満のご入場はご遠慮下さい。

9月9日  
チケット  
発売

チケットは  
Webからも!



【発売所】 アクトシティチケットセンター・遠鉄百貨店新館7F・浜響事務局・(株)ヤマハミュージック東海浜松店3F

お問い合わせ：浜松交響楽団事務局 Tel.053-454-6722 Fax.053-455-3563 (月～木曜午前10時～午後3時) グランドホテル浜松3F (公社) 浜松青年会議所内  
[主催]公益財団法人浜松交響楽団

[後援]浜松市、公益財団法人浜松市文化振興財団、浜松商工会議所、公益社団法人浜松青年会議所、静岡新聞社、静岡放送、中日新聞東海本社、K・MX、FM Haro!、ケーブル・ウインティ

www.hamakyou.jp



# 浜松交響楽団

第73回  
定期演奏会

Hamamatsu Symphony Orchestra

## ブレンナー峠を越えて

チロル・アルプス山中の小さな峠、ブレンナーを越えてイタリアの旅に向けたモーツァルトやゲーテは何を求めていたのだろうか。混沌とした北方ドイツの“精神”と明るい南国イタリア的“感覚”の対比がドラマチック。

小塩節 著 「ブレンナー峠を越えて」より

今回は小塩節さんの著書から同名をサブタイトルにお借りして、ドイツとイタリアにちなんだ音楽をお楽しみ頂きます。ブレンナー峠は古来からイタリアと北東ヨーロッパをつなぐ重要な峠として知られ、モーツァルトのほかにも多くの大作曲家たちがこの峠を越えて旅をし、イタリアの文化や芸術から感銘を受け、数々の名作を生み出しました。指揮者に浜響2度目の登場となる時任康文さん、ソリストとして地元ゆかりのテノール平尾憲嗣さん、メゾ・ソプラノ上田由紀子さんをお迎えします。公益財団法人となった浜響が記念すべき最初の定期演奏会で見せる、ドイツの荘厳さ、イタリアの明朗さにぜひご期待頂きたいと思えます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

### プログラム

チャイコフスキー

イタリア奇想曲 作品45

チャイコフスキーはロシア生まれですが、西欧に強い憧れを持ち続けた作曲家でした。1879年からヨーロッパ各地を旅行して多くの名作を発表しました。この「イタリア奇想曲」もその中で生まれた曲の一つで、イタリアの風土や文化、芸術に魅了されたチャイコフスキーがイタリアの民謡や舞曲を書きとめ、南国イタリアの印象を表現したとされています。イタリアの明るく陽気な雰囲気が巧みな管弦楽法で描かれた名曲です。

ディ・カプア オー・ソレ・ミオ

トスティ 理想の女

トマ 歌劇「ミニオン」より

“君よ知るや南の国” ほか

イタリアはオペラ発祥の地であり、有名な歌曲を数多く生み出してきた国です。今回はイタリア・カンツォーネと歌曲を中心に数曲取り上げます。地元出身で若手実力派の平尾憲嗣さん（テノール）と上田由紀子さん（メゾ・ソプラノ）の甘い歌声に御期待ください。

ブラームス

交響曲第3番へ長調 作品90

この曲は1883年にドイツ中部の保養地、ヴィースバーデンで作曲されました。美しい自然と親しい人々に囲まれた環境で創作活動に励んでいたブラームスは若い歌手、ヘルミーネ・シュビースと恋に落ちますが、実らずに終わってしまったとされています。この交響曲が持つ自然の美しさ、陽気さ、孤独感などが入り混じった独特の旋律をお楽しみください。

指揮：時任 康文



武蔵野音楽大学器楽科卒業後、東京音楽大学指揮科に学ぶ。指揮法を紙谷一衛、沙澤安彦、両氏に師事。在学中より二期会、日生劇場、新国立劇場を中心にオペラの音楽スタッフや合唱指揮者として参加。小澤征爾氏、若杉弘

氏、秋山和慶氏等のアシスタントを務めた。1990年、カールマンのオペレッタ「チャールダッシュの女王」を指揮してデビュー。平成8年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。イタリアオペラの巨匠、ネッロ・サンティ氏に師事。チューリッヒ歌劇場、メトロポリタン歌劇場、等に於いて彼のアシスタントとして研鑽を積んだ。東京音楽大学、武蔵野音楽大学、二期会オペラ研究所講師。

テノール：平尾 憲嗣



浜松学芸高等学校音楽科卒業、国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。大学院在籍中の2002年、Bunkamura/産経新聞モーストリー・クラシック主催によりオーチャードホールで開催された「第4回オペラティックノバル」で第1位。藤原歌劇団に05年「ラトラヴィアータ」のガストンでデ

ビュー。06年にも同役で出演。藤原歌劇団ではこれまで主役テノールのアンダースタディを務めて研鑽を積み、07年藤原歌劇団本公演「リゴレット」のマントヴァ公爵に抜擢された。同年3月には小沢征爾指揮の東京の森「タンホイザー」にハインリッヒ役で出演。更に同年10月に藤原歌劇団本公演「蝶々夫人」にピンカートンで出演。その後文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。岡崎女子短期大学専任講師。藤原歌劇団団員。浜松市浜北区出身。

メゾ・ソプラノ：上田 由紀子



浜松学芸高等学校音楽科、東京芸術大学声楽科卒業。酒井あやの、栗林義信の各氏に師事。

静岡県学生音楽コンクール第3位。アメリカ・フィラデルフィアに留学、研鑽を積む。オレゴン州ポートランドにてヤングオペラアーティストプログラム、イーストマン音楽学校夏季セミナーに参加。二期会オペラ研究所優秀賞を受賞。マスタークラス修了。フランスに短期留学。静岡音楽館AOI 10周年記念オペラ「あまじやくとうりこひめ」うりこひめ役、浜松市制90周年オペラ「三郎信康」みの役、浜松市制100周年事業・音楽詩劇「かぐや幻想」ばば役などで出演。東京を中心にシャンソンなどを取り入れたコンサートやリサイタルを開催。東京音楽コンクール、日本声楽コンクール入選。磐田市出身。

### 浜松交響楽団

「楽器のまちから音楽のまちへ」との願いをこめて1976年(社)浜松青年会議所により設立。1978年に財団法人となり、現在団員数120名。

秋と春の年2回の定期演奏会、小学校や中学校でのオーケストラ教室など、地域に根ざした活動を続けている。2000年度サントリー地域文化賞、静岡県知事賞、NHKあけぼの賞、2006年第59回中日文化賞を受賞。2012年4月より公益財団法人へ移行。

次回は 2013年3月17日(日)

第74回定期演奏会

指揮：井崎 正浩

ドヴォルザーク

交響曲第9番「新世界より」ほか